

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

読んでみませんか?

『自分を信じた 100 人の男の子の物語』

ベン・ブルックス/文
クイントン・ウィンター/絵
芹澤恵・高里ひろ/訳
河出書房新社

この本に登場する 100 人の中には、誰もが知っている有名人や歴史上の人物もいれば、平凡な人生を送る中で、偉業を成し遂げた人もいます。将来、こんな大人になりたいと思う人が見つかるかもしれませんね。



『絵本作家のブルース』

長谷川 義史/著
NPO 読書サポート
九州の講演会直前、焼酎の試飲会に連れていかれたら、絵本ライブでは最前列の子どもに「もう帰りたい」と言われたり。絵本作家の長谷川さんの愉快な日常を描いたイラストエッセイ。雑誌『この本読んで』の人気連載が 1 冊の本になりました。



ちびっこサロン

日時 6月12日(水) 10:30 ~ 場所 森のゆうびんきょく

大人のおはなし会

日時 6月8日(土) 14:00 ~ 場所 陵南の森公民館 2階 視聴覚室

プログラム 「とっつこう ひっつこう」「三つの願い」ほか

主催 おはなしボランティアグループ「はびきの」/羽曳野市立図書館

※どなたでもご参加できます。

おはなし会 (6月)		今月の特集・テーマ	
東部図書館	12日(水)	10:30 ~	お家でゆっくり
羽曳が丘図書館	8日(土)、22日(土)	15:00 ~	空と宇宙とお天気の本
古市図書館	15日(土)	15:00 ~	信じる? 信じない? 不思議世界
丹比図書館	22日(土)	10:30 ~	舞台は図書館!
中央図書館	1日(日)、9日(日)	13:30 ~	もずふる世界遺産特集 にほんのむかし (児童)
	15日(土)、23日(日)		
陵南の森図書館	2日(日)、9日(日)	11:00 ~	体をほぐす本 おてんきのほん (児童)
	23日(日)		
	15日(土)		
	16日(日)		
	・11:00 (小さい子向き)		
	・11:30 (少し長いお話を聞ける子向き)		

6月30日(日) 市内の図書館は全て休館となります。

サラダボール

『忘己利他』

私が小学校に上がる春を待たず、父が他界し、その後、母は幼い姉と私をひとりで懸命に育ててくれました。

母は、私たちを起ささないようにそっと寝室をぬけ出し、朝早くから夜遅くまで働き、家事をこなし、泥のように眠る毎日でした。姉が結婚し、私が大学を卒業して就職しても母は家庭を支えてくれ、65歳を過ぎて、ようやく自分の時間を持つようになって「やることをやってからゆっくりしたらいい」、「自分に厳しく、人に喜んでもらうことをせなあかん」といつもいそがしくしていました。

そんな母も 80 歳になり、入退院を繰り返すことが増えてきました。これ

までできていたことがひとつ、またひとつと少しずつ難しくなっていく、2年後の6月、母との別れの時がきました。

母の身体は、すでに水分も栄養も必要としなくなっていました。母は食べようと努め、まだ私たちのために生きようとしてくれました。とうとう目を開ける力もなくなり、母の小さな呼吸を見つめるだけの時間が過ぎていきました。日付が変わり、疲れもあって姉と私は、ほんの少しだけ眠ることにしました。母のわずかな変化にも気づくように母の顔に顔を寄せて、川の字になって横になりました。一瞬で眠りに落ち、慌てて起きると、時計の針は 20 分も進んでいて、その間に母は、私たちを起ささないようにそっと息を引き取っていました。あまりの母らしさに姉も私も涙が止まりませんでした。

急な知らせだったにもかかわらず、母の葬儀には大勢の方が駆けつけてくださいました。そして遺影を見て、多

くの方から「お母さんらしい、いい写真やね」と温かいお声を掛けていただきました。母は、言っていたとおり「人に喜んでもらう」人生を歩んできたんだなあと感じました。

母との別れからもうすぐ3年になります。自分のことは勘定に入れて姉と私のために尽くしてくれた母が自分らしく生きられたか、幸せだったかを考えると今でも感謝と申しわけない気持ちでいっぱいになります。もし、「自分ができていることで人に喜んでもらう」ことが母の喜びであり、幸せだったとすれば、今の私にできる親孝行は、人に喜んでもらえる生き方をすることだと思っています。

そんな私に母は一緒にいてくれた時と同じように「お母さんのことはいいから、自分のせなあかんことしいや」と言ってくれるかもしれないけど。

はびきののしじけんけいはつすいしんきょうきかい
羽曳野市人権啓発推進協議会